


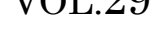

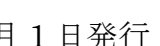

 <h1 style="margin: 0;">通信</h1> <h2 style="margin: 0;">VOL.29</h2> <p style="margin: 10px 0 0 0;">平成 30 年 10 月 1 日発行</p>	社会福祉法人  事務局 浜松市南区金折町 804-1 TEL 053-545-9754 FAX 053-545-9764
	相談支援室  (相談支援事業所) 浜松市南区金折町 804-1 TEL 053-545-9764 FAX 053-545-9764
	 (生活介護事業所) 浜松市南区金折町 807-1 TEL 053-427-1190 FAX 053-427-1200
	 (就労継続支援B型事業所) 浜松市南区金折町 957-2 TEL 053-544-5488 FAX 053-544-5488
	 (共同生活援助事業所) 浜松市南区金折町 804-1  (短期入所事業所) TEL 053-545-3741 FAX 053-545-3715  (児童発達支援事業所) 浜松市中区舘塚二丁目 6-13 TEL 053-489-3200 FAX 053-489-3216

災害に備えて・・・

豪雨、地震、台風・・・全国各地で発生している様々な災害により、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

いっどこで起こってもおかしくない自然災害に備えておくことは、喫緊の課題であります。各事業所の取り組みを紹介します。

～フォーワン～

フォーワンは男女合わせて6名の利用者さんが共同生活をしているグループホームです。今年度は、水害避難準備情報発令時に車両での避難を想定した訓練を行っています。素早く車両に乗り込み、地域指定避難場所へ避難することが目的です。一刻を争う非常時にいかにスムーズに行動が出来るかが重要になります。毎月の訓練の積み重ねで身につけてくればと考えています。

また、災害発生時には水や食料の確保、利用者さんの日常生活支援など様々な支援が必要となってきます。地域と日頃から連携を取り、いざという時に協力が得られる体制をどう作るかが課題となります。日頃から地域での催しに参加をし、地域の方々とのお付き合いを心掛け、事業所が抱える実情をご理解頂ければ有難いです。

障がいのある方は、自分から助けを求める事が難しいこともあります。いざという時に周囲の方に手助けしていただけるように、入居者全員がヘルプマークを携帯するようにしています。ヘルプマークを携帯している方を見かけましたら、温かい手を差し伸べていただけたらと思います。



「ヘルプマーク」
援助や配慮を必要としていることを知らせるためのマークです

～ゆりかご～

ゆりかごは、就学前のお子さんが通う事業所です。ゆりかごでは、防災マニュアルの整備や避難訓練の実施などの取り組みをしています。子どもたちが建物内にいる時だけでなく、送迎中や散歩中など様々な場面で災害が起こった場合を想定し、職員間で話し合い、マニュアルを見直すようにしています。例えば、送迎時の子どもの安全を確保するため、送迎を利用する子どもが3名以上いる場合は、職員2名が送迎車に添乗するように見直しました。

6月の大阪北部地震では、倒れたブロックの下敷きになり、小学生が亡くなるという痛ましい事故が起きました。散歩中に地震が起こった場合、同じような事故が想定されます。周辺のブロックを再度確認するとともに、常に「ここで災害が起こった場合、子どもの安全を確保するためにどうしたらいいのか」を考えていかななくてはなりません。

ゆりかごは、津波浸水域には入っていませんが、周辺が急傾斜地崩壊危険箇所になっています。避難する途中に危険な事も多くあると思います。ゆりかご内にとどまる方が安全を確保できるかもしれません。その時々での判断が大事になってきます。どこでも起こり得る災害を他人事とは思わず、子どもたちや職員を守るために必要な事を想定した訓練を実施していきたいと思っています。

～あぐり～

自主通所の方もいるあぐりでは、急な天候の変化による通所時間や帰宅時間の変更、休所の情報を速やかに連絡し、安全に通所していただけるようにしています。災害時の連絡網としてピタゴラ連絡網を活用しています。ピタゴラ連絡網とは、登録されている連絡先に一括で確実にメールが送れるシステムです。未読や既読の状況を確認することもできます。連絡の時間を短縮し、確実に同じ内容の連絡ができるようにしています。

また、非常食は3日分常備しています。毎年9月の総合防災訓練の際には、非常食に慣れ、災害時でも食べることができるように試食を行っています。非常食として、水を入れるだけで食べられるお米、乾パンやビスコといった軽食、去年からはレトルトカレーも保管しています。

防災用として着替えを3日分用意していただき、あぐりにて保管しています。総合防災訓練で衣服の枚数やサイズを職員と一緒に確認し、個人の防災意識も高められるようにしています。

～えくらん～

地震を想定した訓練では、職員の地震発生の合図とともに利用者さんは直ぐに机の下に身を隠すことができます。揺れがおさまった合図で建物から駐車場に避難して点呼と安否確認をしています。室内の安全対策として、棚などが倒れないように突っ張り棒をしたり、建物の自主検査をしたりしています。

非常食や衣類、薬、個人情報分かるファイルなども準備しています。防災には「これで大丈夫」と言える対策はないように思いますが、安全性を高め被害を最小限にできればと考えています。

また、実際に災害が起きた時に心と体に大きなストレスを感じるかと思います。恐怖や怒り、失望感、無力感などに対する精神面のケアも大事です。日頃からの関わりを大切にして、非常時でも安心してもらえるような関係を構築していきたいと思っています。



「バケツと僕！」

浜松ハーモニーロータリークラブのご厚意で、映画「バケツと僕！」の上映会に職員を招待していただきました。障がい児と家族の養育放棄、指導と言う名もとの養護施設での虐待等々と重たいテーマを取り扱った映画です。浜松出身の竹山昌利さんが企画・プロデュースし、撮影場所の多くに浜松の風景が使われています。中田島砂丘、遠鉄電車、市内繁華街、南区にあるガス貯蔵タンクなど見知った場所がたくさん出ています。職員の知り合いもエキストラとして参加していたことを後で知りました。

「万引き家族」が評判を呼んでいます、「バケツと僕！」も「バケツ」というあだ名の15歳の軽度知的障害のある少年の盗癖も大きなテーマとなっています。主人公の「僕（神島大悟）」は深く考えず養護施設で働くことになるのですが、厳しい現実と向き合う中で揺れ悩み苦しむ姿が映し出されます。「僕」は交通事故で家族を失っています。「なぜ自分だけ生き残ってしまったのか。」と自分を責め続けます。養護施設を追い出された「バケツ」を「僕」が引き取りますが……。最終的には「バケツ」と「僕」の和解が成立するというストーリーです。

ミルトン・メイヤロフの著書「ケアの本質」の中で「ケアする者がケアされる。」というメッセージがあります。「バケツと僕！」を観終わった時、この言葉を実感することができました。DVDが発売されています。ぜひご覧ください。

理事長 大場栄雄



『バケツと僕！』好評発売中
発売元：彩プロ
販売元：TCエンタテインメント
価格：DVD 3,800円+税
©映画『バケツと僕！』製作委員会



一人ひとりに寄り添えるように

えくらん 高林佐知

4月からえくらんに配属になりました、高林佐知と申します。以前は高齢者施設に勤めておりました。前職とは異なる分野に初めは戸惑う事も多く、不安でいっぱいの日々でしたが、入職してから数か月が経ち、日々利用者さんの明るさや笑顔に元気をいただきながら、えくらんにも慣れてきました。

利用者さんと一緒に過ごす中で、一人ひとりの優しさや思いやりの心に触れ、とても温かい気持ちになると同時に、そのような魅力をもっと引き出せるような支援がしたいと思うようになりました。自分の支援に対して、利用者さんが笑顔に向けて下さったり、前向きな姿勢を見せて下さったりする時に、とてもやりがいと嬉しさを感じています。時には難しさも痛感し、自分の対応に自信を無くしてしまう事もありますが、先輩の職員方、そしてご家族の皆様方に温かいご指導を頂き、励みにして頑張ってくる事ができました。

今後も、利用者さんにとってより良い支援とは何か、支援員として何ができるのかを常に考え、日々学ぶ姿勢を持って精進していきたいと思えます。利用者さん一人ひとりに寄り添える支援員になれるよう努力してまいりますので、今後ともご指導宜しくお願い致します。



家族のような温かさのなかで・・・

えくらん 古山瑛大

私の趣味は卓球と動画を観る事です。好きな食べ物はラーメンです。私は今、とても楽しく働いています。まだ慣れていなかった時に、利用者さんから私に声を掛けてくれたことがとても嬉しかったです。クラブ活動やレクリエーション、行事、散歩などで笑みを浮かべながら楽しんでいる利用者さんの姿や、作業を真剣に取り組んでいる利用者さんの姿が私を元気にしてくれます。えくらんは、一つの家族が楽しく団らんをしているようだと私は感じました。

しかし、生活の支援や作業の検品、利用者さんとのコミュニケーションはとても大変です。私はまだ社会に出たばかりで、利用者さんそれぞれの支援方法やコミュニケーション方法などの知識がなく、難しく感じましたが、日が経つにつれて少しずつ理解できるようになってきました。そして、先輩職員の方々が丁寧に教えてくれたため、楽しく働くことができています。そのため、失敗をして迷惑をかけるまいよう、いっそう精進して働きたいと思えます。これから、大変なこともあるかもしれませんが、踏み止まらず前進して働けるように頑張っていきたいと思えます。



心配事を乗り越えて

あぐり 山内拓弥

私は、今年の4月からあぐりに配属されました。私は働く上で心配なことが二つありました。

一つは、利用者さんとの会話です。私は高校では福祉のことを中心に学んでいたのですが、障がいのある方とは実習などで関わったことがあります。しかし、私は初対面の人と話すのが得意ではありません。利用者さんとうまくしゃべれるかとても心配でしたが、利用者さんの方から話に来てくれることが多く、すぐに話せるようになり、今では楽しく会話ができるようになりました。これからも利用者さんと色々な会話をして、皆さんのことを知っていきたくです。

二つ目は、働くことが初めてということです。私は初対面の人と話すのが得意ではない上、アルバイトの経験もないので、他の職員の方とうまく連携がとれるかが心配でした。他の職員の方が仕事内容を分かりやすく教えてくれたので、今では自分から進んでできることも増えてきました。会話も最初は思うようにはできませんでしたが、少しずつできるようになり、分からないことがあったらすぐに聞くようにしています。

これからも心配事を乗り越え、利用者さんの気持ちを第一に考えて行動していきたいと思えます。

平成 29 年度決算報告（平成 30 年 3 月 31 日現在）

資金収支決算状況

項 目		金額（千円）	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	8,295
		障害福祉サービス等事業収入	158,301
		経常経費寄附金収入	1,085
		その他の収入	1,726
		事業活動収入計（1）	169,407
	支出	人件費支出	109,290
		事業費支出	11,390
		事務費支出	14,348
		就労支援事業支出	8,641
		利用者負担軽減額	914
その他の支出		1,612	
事業活動支出計（2）	146,195		
事業活動資金収支差額（3）=（1）-（2）		23,212	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	575
		固定資産売却収入	10
		施設整備等収入計（4）	585
	支出	設備資金借入金元金償還支出	3,274
		固定資産取得支出	16,594
		ファイナンス・リース債務の返済支出	949
		その他の施設整備等による支出	0
施設整備等支出計（5）	20,817		
施設整備等資金収支差額（6）=（4）-（5）		▲20,232	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	7,600
		その他の活動による収入	0
		その他の活動収入計（7）	7,600
	支出	積立資産支出	1,980
		その他の活動支出計（8）	1,980
その他の活動資金収支差額（9）=（7）-（8）		5,620	
予備費支出（10）		0	
当期資金収支差額合計（11）=（3）+（6）+（9）-（10）		8,600	
前期末支払資金残高（12）		55,986	
当期末支払資金残高（13）=（11）+（12）		64,586	

事業活動収支状況

項 目	金額（千円）
(1)サービス活動増減差額	15,500
①サービス活動収益	167,681
②サービス活動費用	152,181
減価償却費	14,963
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲8,115
その他サービス活動費用	145,333
(2)サービス活動外増減差額	5,502
①サービス活動外収益	7,115
②サービス活動外費用	1,613
(3)特別増減差額	1,581
①特別収益	2,156
②特別費用	575
当期活動増減差額	22,583
前期繰越活動増減差額	139,059
当期末繰越活動増減差額	161,643
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	7,600
その他の積立金積立額	7,038
次期繰越活動増減差額	162,205

貸借対照表

項 目	金額（千円）
(1)資産の部	408,039
①流動資産	79,530
②固定資産	328,509
(2)負債の部	53,152
①流動負債	28,311
②固定負債	24,841
(3)純資産の部	354,887
減価償却累計額	147,203

* 端数処理の関係で合計が一致しないこともあります。

積立金状況

貸借対照表上の積立金の勘定科目	積立目的	金額（千円）
経常経費、修繕積立	人件費・事業費・事務費、修繕費に対する積立	40,652
施設整備積立	新規施設事業設備に対する積立	13,902
保険料積立	建物更生保険料積立金	6,237
授産活動積立	就労施設の備品購入、修繕費に対する積立	331

平成 29 年度 苦情等の受付・対応状況について

平成 29 年度は、19 件の苦情、21 件の要望を頂きました。今後も真摯に対応していきたくと思います。

	えくらん	あぐり	フォーワン・とも	ゆりかご
苦情件数	9	3	1	6
要望件数	7	8	2	4

主な内容（公表可のみ）

苦情・要望内容	事実確認及び対応
新茶販売で注文と違う物が 1 本入っていた。	お詫びをし、ご注文品と交換した。チェック表を作成し、確認しながら封入作業を行うこととした。
（近隣の方から）畑の泥が車に飛んでいる事があったので気を付けてほしい。	畑作業のやり方の再確認し、泥が飛ばないように工夫して行うこととした。
インフルエンザ発症の発見が遅れたので長引いた。もっと早く体調不良に気付いて欲しい。	少しの体調の変化でも、ご家族に様子を詳細に伝えることを職員間で確認をした。
怪我や事故、体調不良などがあつた時は、口頭だけでなく、連絡ノートにもその時の状況を記載してほしい。	園長から改めて謝罪した。口答、連絡ノートの記載と二つの方法で保護者に伝えていくことを職員間で確認した。

あそしえ後援会ご入会・ご継続のお願い

みなさまのご善意により後援会を運営しております。スポーツデイやクリスマス会などの行事にボランティアとして参加、成人を祝う会やゆりかご卒園式には記念品の贈呈などを行っています。

あそしえ後援会

「あそしえ」への財政的協力・支援活動
 「あそしえ」の広報活動
 会員相互の交流 その他活動

ご支援ご協力お願い致します

年会費 個人会員 一口 1,000 円
 法人会員 一口 10,000 円
 郵便振替 00890-0-100480 「あそしえ後援会」

後援会ご加入・ご継続者（平成 30 年 3 月～8 月・順不同、敬称略。匿名を希望される方はお申し出下さい。）

古川雅康 山口勝義 中村真由美 影山忠弘 青木悠 安間俊樹 井口眞孝 北野正巳 佐藤央恭
 袴田雅俊 森園直美 竹内宏幸 竹内恵子 神谷信雄 鈴木幹則 伊東美幸 大石邦子 加藤きえ
 日内地孝夫 (株)ハクト 杉浦直人 鈴木義隆 猪原谷文 寺澤和代 京丸園(株) (有)マツオ工機
 今泉直哉 齋藤弓子 高林久二夫 (株)アズ・フレックス 本蓮寺・梅澤堯宏 公共土地有限会社
 竹内公一 竹内三紀子 (有)コスモグリーン庭好 鈴木啓一税理事務所 川合美恵子 橋本佳代子
 川越秀司 池田佳世 (有)水野加工 松尾志津子 望月隆明 加藤五十鈴 池谷直子 吉野いづみ
 岩松一好 高橋和良 宮崎啓太 木村満雄 天野正彦 花崎佳子 石樽太一 高井享子 小田史子
 山本長行 (株)トレードトラスト 小野史子 内田賢一 Konoike Co(株) 山本耕一 山本やちよ
 山下純乃 榊原自動車(株)

ご協力ありがとうございました

（平成 30 年 3 月～8 月・順不同、敬称略。匿名を希望される方はお申し出下さい。）

ご寄付

(株)HoQ ホールディングス あそしえ家族会 岩崎真一
 あそしえ後援会 イオンリテール(株) 鈴木直人 (株)飯田組
 マックスバリュ東海(株) (株)希望 榊原自動車(株)

アルミ缶ご協力

(有)マツオ工機 齋藤晃江 袴田智恵美 小池富子 宮本恵子
 ナカムラ道路(株) 鴨江八日会 西伊場風揚げ会 河合秀敏

地域の皆さまにもご協力いただいております。いつもありがとうございます。
 ご利用者家族からのご寄付・ご協力は割愛させていただきます。

あぐりではセルフ茶を販売しています。売上の一部は、利用者さんの工賃に還元されます。会議や会合などにピッタリの 400ml 飲み切りサイズです。

1本 130 円（税込）
 1ケース 24 本入り 3,120 円

お問い合わせ

あぐり (053-544-5488)





縁あって・・・感謝感謝の15年

温室メロン農家 齋藤真理子

「あそしえ」さんとのご縁

初めまして。南区で温室メロンを栽培している齋藤真理子です。「あそしえ」さんとのお付き合いは15年。すっかり古株です。

15年前、私はある記事と出会いました。それは金折町に開設された「えくらん」さんで『簡単な作業を探しています』というような内容だったと記憶しています。記事には「えくらん」さんの所在地と電話番号が記載されていました。

初めての出会いは子連れで

主人と相談の上、「えくらん」さんに電話をすると、大場施設長（当時）から「一度お話を伺わせてください。」と嬉しい言葉をいただきました。約束の日、片手に作業のサンプル、もう片手に長男の乗ったベビーシートをぶら下げ、「えくらん」さんを訪れました。玄関にはジャージ姿の大場施設長とスタッフの方、それに利用者の皆さんが出迎えてくれました。ベビーシートの中の長男を見つけた利用者さんがキラキラした瞳で「赤ちゃん、赤ちゃん！」と笑いかけてくれました。



さあ、商談です！

私からの依頼は2つ。出荷時にメロンを包む薄い紙を2枚1組にし対角線上に三角に折ること、収穫の近づいたメロンに被せる笠として使う新聞紙に切り込みを入れること。大場施設長の前で実演をすると・・・。なんと大場施設長の眉が下がっているではないですか！「断られるかも」という一抹の不安を胸に抱え、恐る恐る「どうでしょう？」と問いかけると、「うーん、三角に折る時の土台みたいなものがあるとできるかな。

新聞紙の方はハサミを使える利用者さんで・・・」と思案顔。「まずは試しにやらせてください。」と。前例のない作業内容ゆえに、工賃にも頭を悩ませたあの頃です。

感謝感謝の15年

あれから15年。赤ちゃんだった長男は今、中学3年生です。作業も「えくらん」さんから「あぐり」さんへ移りました。数年前からはロール状になったエアパッドをカットする仕事もお願いしています。驚くべきことは丁寧な仕事ぶりです。簡単そうに見えて、実は根気とコツのいる作業です。どなたが担当してくれているのでしょうか。仕上がった品物を「あぐり」さんへ取りに伺う時、つつい作業中のみなさんを見ては「あの人かな？この人かな？」と。皆さんには感謝しかありません。感謝感謝の15年です。



新聞紙に切り込みを入れています

これからも、このご縁を大切にしていきたいです。玄関先で皆さんのことをガラス越しにじーっと見つめている人がいたら、それは私でしょう。



薄紙を三角に折っています



「あぐり」で三角に折られた薄紙を使い、メロンを包みます